

令和6年度 学校評価アンケート（生徒・教師・保護者）の結果

4段階評価【 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する 】

評価目標 方策・手立て			学校運営協議会より
			コメント
挑戦	とけ将 の出来 でしを き、見 るそ据 生のえ 徒実、 の現学 育にぶ 成向機 け会 てを 挑自 戦分 すで る見 こつ	1 ICT機器の効果的活用や魅力ある学習課題の提示 2 ねらいとまとめの整合性のある授業展開 3 目的が自覚できる学校行事や学年教育活動の実施	○中学三年間で、自分の将来への目標が決まるよう授業を大切にし、全校生徒の学力向上が図られる学校づくり、経営を期待したい。 ○ICT機器活用の学習においては、今後の学行や生活などに大変役立つものであり、家庭でも一緒になって取り組んでほしい。 ○ICT機器を活用した学習が増え、生徒さんの意欲向上につながっているのは大変よいと思う。指導する先生方は機器の操作や資料づくり等大変だと思います。頭が下がります。 ○家庭学習の習慣化については、小学校とも連携・協議した取組も必要ではないか。 ○保護者の評価が厳しい。家庭学習は、保護者も努力する必要があるだろう。タブレットを活用した家庭学習もさらに充実するように取り組んでほしい。 ○あいさつについては気になることであり、率先してできるといい。 ○ICTの活用は大変学びやすい環境だとおもいます。電子黒板やタブレットで視覚化することで授業も分かりやすいのではないかと思います。 ○保護者の評価が低いところは、保護者の期待が大きいことの裏返しだと思います。 ○そもそも家庭学習にタブレットの課題を与える必要があるのか疑問です。家庭での学びの中で使いたい人は使う等の多様性も大切だと思います。 ○学力だけではなく、様々な人間力をお互い認め合う場にもなるので、学校行事や生徒会活動はますます頑張ってもらいたい。
自律	るでも自 こ判周分 と断りの のしへ考 でてのえ き責配を る任慮明 生のを確 徒あ怠に のるらも 育行ずち 成動、な を自が と分ら	1 時と場所と場面に応じた挨拶、服装、言動の実践化 2 生徒の自己決定を促し、自己肯定感を育む場の設定 3 メディアコントロールを意識した健康生活の充実	○全校生徒が学校のきまりを守り、落ち着いた学校生活を送り、充実した楽しい三年間になるように願っている。 ○青少年を取り巻くネット環境の問題点等を学校・地域・家庭が連携して共通理解できる取組や発信をさらに進めていく必要あり。 ○学校内外、生活面は落ち着いている様子が見えます。あいさつについては、徐々によくなっていると思います。 ○⑨⑩⑫の生徒評価が高いことから学校生活が充実し、楽しく過ごせていることが感じられて喜ばしい。 ○SNSの危険性については定期的な指導を引き続きお願いしたいです。 ○自分の意見がしっかり言える人を育ててほしい。 ○中学生は多感な時期であり、先生方や保護者の方は大変苦労されているのでは。しかし、私が地域で会う限りでは、挨拶をしたり会釈をしたりする生徒は多いと感じます。逆に大人が見習ってたくさんあいさつするべきだと感じます。 ○SNSやICT機器を正しく活用していると思っている生徒が多いのはとても心配です。正しくない情報を信じる危険性なども各機会でご伝えてほしいです。
貢献	こをちふ と通、る のし地さ でて域と き自や綾 る分社へ 生自会の 徒身に誇 のを貢り 育成献と 成長す愛 さる着 せこを るとも	1 てるはの時間(総合的な学習)の充実 2 各種ボランティア活動等への積極的参加 3 地域や家庭、関係諸機関等と連携した教育活動の推進	○綾町の「自然、人、もの」等を活用した総合的な学習の時間が魅力的なものであり、生徒の綾町愛が育っているのが素晴らしい。 ○綾マラソン開催における中学生ボランティアの様子がテレビ放映され、ランナーの方への声かけ等、すごく心温まるものだった。 ○綾町では、ボランティアに参加できる行事が多く、生徒達はそれぞれに参加できている様子が見えます。大変よいことだと思います。 ○⑭は生徒・教師・保護者ともに高評価で、充実していたことがよく分かる。綾町を好きになり、大きくなってからも綾町を担う人材に育ってくれることを期待したい。 ○生徒達が主体的にボランティアに参加してくれればとてもよいことであると思います。単発ではなく継続することも期待しています。 ○ボランティア活動への評価が他に比べてかなり低いのはなぜか。具体的に考えていく必要がある。やらされている感があるのではないか。 ○総合的な学習の時間は、綾町ならではの充実が図られている。地域をつなぎ、地域を元気にする中学生の取組を期待している。 ○子ども会活動への参加について考えてほしい。（中学生の参加が少ない） ○ボランティア証明書のためにボランティア活動に参加している子が多かったように見える。自分が得たものがなんなのか感じてもらいたい。 ○子ども会参加が少ないようですが、子ども達は、勉強、塾、部活動と忙しすぎると思います。その中でボランティア活動もよく頑張っていると思います。 ○綾マラソンでは生徒が主体的に参加する姿が立派でした。主体的に取り組むことが、「挑戦」の中の「学ぶ機会を自分で見つけ出し」にもつながっています。